

《Lesson 3》 be 動詞の否定文

【be 動詞の否定文：基本的な形】

主語 + be 動詞 + not + ○○.

「主語は○○ではありません」

* are / is は「be 動詞+not」を短縮させることができる

are not = aren't is not = isn't (amn't = ×)

<例>

(1) 私は背が高くありません。 → I am not tall. (I amn't tall = ×)

(2) エリは先生ではありません。 → Eri is not (isn't) a teacher.

(3) これらの机は大きくありません。 → These desks are not (aren't) big.

【be 動詞の否定文の作り方】

ステップ① : be 動詞の「肯定文」を作る。

ステップ② : be 動詞の後に not を足す。(am 以外の be 動詞は not と短縮させることも可)

<例 1> 「エリは先生ではありません」という文の場合

ステップ① : be 動詞の「肯定文」を作る。

→ エリは先生です。

_____ Eri is a teacher.

ステップ② : be 動詞の後に not を足す。

_____ Eri is not (isn't) a teacher.

<例 2> 「これらの机は大きくありません」という文の場合

ステップ① : be 動詞の「肯定文」を作る。

→ これらの机は大きいです。

_____ These desks are big.

ステップ② : be 動詞の後に not を足す。

_____ These desks are not (aren't) big.

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。